

調査活動をベースとした学習では、学習の段階に応じて、様々なメディアや手法の使い分けが必要です。ここでは、基本的な調査活動のステップに応じて、丹後緑風高校のみなさんが使える手段として適切なものを紹介します。

1. テーマを決めて、資料を探す。

既存の資料には、「本」と「インターネット」の2つの媒体があります。

(1) 本で探す場合

本は、ある程度、たしかかな情報源として信頼される有償の情報です。基本的には信頼できるものとして、積極的に活用しましょう。ただし、その本の出版年により、「いつの時点の情報か」ということには、注意が必要です。内容によっては、現在の定説とは異なる場合があります。

本は、学校図書館の蔵書と、この授業のために公共図書館から借りてきた本があります。

【本の探し方】

・ 学校図書館の本

インターネット蔵書検索「くみこう図書館」>「本を探す」で蔵書検索し、書名と請求記号(分類番号)を確認し、本棚で該当書架を探します。

本は、一般書、新書、大型本の3カ所にあり、分類番号順に並んでいます。

・ 他の公共図書館等の本

図書館カウンター周辺の青・オレンジ・グレーのコンテナにまとめて入っています。

書名や目次・索引を参考に、目的の内容を探しましょう。

公共図書館の本は、2週間～1ヶ月で一度返却する必要がありますので、返却・延長手続き時に紛失していると、すべての本の延長手続きができなくなるなど、ひじょうに大きな問題になります。授業後は、司書に返却してください。

(2) インターネットで探す場合

インターネットは、多くが検証されていない無料の情報です。本が「産地と賞味期限を明記して販売されている食材」であるのに対し、「産地も賞味期限もわからない、無料の食材」と考えてみましょう。仮にみなさんが料理人であったとして、正体不明の食材で調理した料理をお客様に提供することが認められるでしょうか？

無数にあるインターネット情報から、安心して食べられる食材(信頼できる情報)を見つけ出すには、情報の出所を指定するドメイン検索が便利です。例えばキーワードといっしょに、`ac.jp` と入れて検索してみましょう。大学等の学術機関が発信している情報に絞り込んだ検索結果を表示できます。

【インターネット情報の探し方のすすめ】

- ・ Google 等の検索ブラウザを使用する時は、「キーワード」 + 「ac.jp」で検索してみる。
- ・ 官公庁や保健センターなど、公的、専門的機関のホームページを閲覧する。
- ・ 「くみこう図書館」>「調べる」でも、文献調査に役立つ情報サイトを紹介しています。

2. 本や資料が、読んでも意味不明なときは

【テーマがまだあやふやな場合】

本や資料の内容を100%理解する必要はありません。まずは、ちょっとでも関係ありそうな資料を手当たり次第に読み、ビビッときた言葉や文章、印象に残った内容が、あなたに適したテーマです。まずは、たくさんインプットして、自分の中にある興味関心のツボを探りましょう。

【必要な内容であることは明らかなのに、理解不能な場合】

論理的なレポートと発表では、調べた内容を自分が正しく理解していることが、まず大切です。資料を読んでいて意味のわからない言葉が出てきたら、学校図書館にある百科事典や分野別事典などの参考図書や、「ジャパンナレッジSchool」で、わからない言葉を調べましょう。

ジャパンナレッジ School は、数十種類の辞書や事典、統計資料、岩波ジュニア新書などを網羅的に検索できる、インターネット上の有償サービスです。丹後緑風高校の生徒は全員、有償契約のアカウントを所持しているので、どんどん活用しましょう。個人のスマホや自宅 PC 等からでも利用できます。

・ジャパンナレッジ School <https://school.japanknowledge.com/>

> 右上にある「ログイン」から、個人 ID とパスワードを入力

(ID とパスワードを忘れた人は、先生に訊いてください。)

3. 資料が見つからない場合

【思考を広げる】

- ・ 関連するキーワードなど、すこし別の角度から情報を集めてみましょう。
- ・ 「ac.jp」で検索する利点は、信頼できる学術情報が見つかりやすいということと同時に、先行研究の有無をある程度確認できるという利点があります。もし、あなたの調べたい内容について、ほんとうにまったく資料が見つからないということであれば、それは世界で初めてあなたが研究する内容、ということでもあるかもしれません。仮説を立て、それを証明する方法を考えましょう。

本やインターネット情報など文献に拠らない調査方法では、「アンケートをとる」「実態調査をする」「実験する」などで自らデータを集め、分析します。

【ほかの本を探す】

- ・ 「くみこう図書館 Blog」>「調べる」>「本や論文などを探す。」>K-Libnet（京都府図書館総合目録ネットワーク）で、検索してみましょう。京都府内の図書館の蔵書を横断検索できますので、読んでみたい本を見つけたら、書誌情報（タイトル・作者・出版社）をメモして、学校図書館司書に申請してください。通常1～2週間で、借りることができます。
- ・ 2022年2月10日まで、「Web OYA-bunko」で週刊誌などの雑誌記事を検索できます。内容は読めませんが、テーマに関してどのような内容や観点が過去に話題になっているのか、知ることができます。調べてみたい人は、学校図書館司書に申し出てください。